

CPD 合同講演会（環境研究会第 86 回特別講演会）のご案内

主催：日本技術士会近畿本部 環境研究会・化学部会・繊維部会（3 会の共同開催）

協力：日本技術士会近畿本部、日本繊維技術士センター(JTCC)

環境研究会 9 月度の例会は、化学部会・繊維部会との三部会合同講演会として、下記の内容で開催いたします。技術士以外の方にもご参加いただきたいと存じますので、奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

記

日 時：2018 年 9 月 29 日(土) 13:30～16:30

《演題1》新しい扉を拓くナノファイバー

《講師》一般社団法人 日本繊維技術士センター 副理事長 八木 健吉 氏

《要旨》近年、ナノファイバー (NF) が注目されています。NF の製造方法には、海島型複合紡糸や超延伸のようなフィラメントの進化によるもの、電界紡糸や遠心紡糸などの革新不織布技術によるもの、繊維をナノレベルにまでマイクロフィブリル化する新しい解繊技術によるものがあり、更に微生物や無機材料から自己成長させるものもあります。これら多様な NF の製造技術や用途展開状況を俯瞰し、NF の将来性や繊維技術における位置づけを探ってみたいと思います。

《演題2》セルロースナノファイバー (CNF) の実用化に向けた取り組み

《講師》日本製紙株式会社 研究開発本部 CNF 研究所長 河崎 雅行氏

《要旨》当社は木質バイオマスを利用した新規事業の開発を進めており、その中でも CNF の開発に注力しています。当社は様々なタイプの CNF の実用化に取り組んでおり、完全ナノ化させた高透明 CNF、食品・化粧品向け CNF、樹脂と複合化した CNF 強化樹脂の生産設備を保有しています。

CNF は高い結晶性を有し、軽量、高強度、低線膨張性などの特性を発現します。これらの特徴を利用して、自動車用の各種部材、塗料・化粧品などへの添加、フィルム・不織布と複合化した高機能シートなど多様な用途が考えられます。本講演では CNF の製法、特徴、及び用途開発の取り組みを紹介します。

場 所：アーバネックス備後町ビル 3F ホール

地下鉄御堂筋線、本町駅 1 番出口を出て、徒歩約 1 分

* 1 番出口から左(東)へ、最初の十字路を左(北)へ
左側 2 軒目のビル

参加費：1,500 円（一般の技術士会員及び技術士以外の方）

環境研究会会員、及び学生は無料です。

懇親会：講演会終了後、2 階レストランで開催しますのでお申し込み願います。

（費用は 3,500 円）

問い合わせ・お申し込み先

環境研究会：藤橋 雅尚 Eメール：m.fujihashi@nifty.com

